

リンパ浮腫管理の研究と実践 原稿執筆要領

1. 原稿の書式

- 1) 本文は Microsoft Word で作成する。標準的なフォント (MS 明朝、MS ゴシックなど)、フォントサイズ (10.5) を用いる。
- 2) A4 版横書きで、1 行の文字数を 35 字、1 ページの行数を 28 行、周囲の余白を 2.5 cm とする。各頁の下中央にページ数、左端に行番号を記入する。
- 3) 原稿ファイルは表紙、本文 (要旨、文献、謝辞、利益相反を含む)、図 (写真を含む)、表に分ける。

2. 原稿の規定枚数

投稿論文の 1 編は本文、文献、図表を含めて下記の範囲内とする。

研究 1 編 邦文 16,000 字以内

総説 1 編 邦文 16,000 字以内

ケースレポート 1 編 邦文 8,000 字以内

その他 1 編 邦文 8,000 字以内

図表は 1 点 400 字換算として字数に含める。

3. 表紙

- 1) 表紙には、希望論文種別 (研究、総説、ケースレポート、その他)、表題、著者名、所属、キーワード (5 個以内) の順に日本語、英語で明記する。英文キーワードはすべて小文字とする。英語の表題はネイティブスピーカーによる英文校正をする。
- 2) 著者の所属の表記は、共著者の所属が異なる場合、筆頭著者を 1) とし、共同著者名の右肩およびその所属名の右肩に 2) 3) と番号をつける。
- 3) 編集委員会への連絡事項および連絡先の住所、氏名、電話番号、メールアドレスを記入する。

4. 本文

- 1) 本文には、邦文 (600 字以内) 英文 (250 語以内) の要旨をつける。要旨には原則として、目的・方法・結果・結論の項目をつけ、それぞれにつき簡潔に述べる。英文要旨は邦文要旨の内容と一致しており、ネイティブスピーカーによる英文校正をする。
- 2) 日本語論文は原則として常用漢字、ひらがな、現代仮名づかいを用いる。英語論文はネイティブスピーカーによる英文校正をする。
- 3) 度量衡は国際単位など汎用されているものを使用する。
- 4) 論文中に固有の機器、医薬品、弾性着衣等の名称を記載する場合は、本文中の初出時のみ一般名 (商品名：企業名) と記載し、以降は一般名で記載する。

5) 論文の項目の区分は原則として下記の例に従う。

・大項目—無記号で上を一行あけ、行の第 2 字目に記す。

はじめに、対象、方法、結果、考察、まとめ、文献などが相当する。

・小項目—1.2.として上下をあげずに行の第 2 字目に記す。続いて 1),2)として行の第 2 字目に記す。

6) 人および動物が対象である研究は、倫理的配慮の内容について本文中に記載する。

5. 文献

1) 文献は引用順に配列し、本文の末尾に一括記載する。本文中の文献引用箇所には著者名や引用文などの右肩に 1)、1)3)6)、1-5)のように記す。参考文献は記載しない。

2) 著者が 3 名以上の場合、はじめの 3 名までを下記、あとは「他」あるいは「et al.」を付け加える。

(1) 雑誌の場合

著者名：表題名，雑誌名，巻(号)，ページ，西暦年代

(2) 単行本、分担執筆の場合

著者名：分担項目題目名，編集者名，書名(版)，発行所，ページ，発行地，西暦年代

(3) 訳本の場合

原著者名：分担項目題目名，訳者名，書名(版)，発行所，ページ，西暦年代

(4) WEB の場合

著者名：タイトル，[オンライン／インターネットアドレス]，ホームページタイトル，入手年月日(月. 日. 年)

6. 謝辞

研究の遂行に関して受けた研究助成がある場合、また、著者以外で当該研究の遂行や論文作成に貢献した者(以下、貢献者)がいる場合は、本文末尾に「謝辞」の欄を設けて記載する。各貢献者の貢献内容を記して謝意を述べる。

7. 利益相反

「謝辞」の欄の次に、「利益相反」の欄を設けて以下のように記載する。

「本研究は〇〇の資金提供を受けた」

「△△(該当する著者名)は〇〇(委員会、団体など)のメンバーである」

利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

8. 図表

1) 図および表には、図 1、表 1 など通し番号をつける。

2) 1 ページに 1 点として作成する。

- 3) 図については、DOC(X), XLS(X), PPT(X), JPG, TIFF, GIF, AI, EPS および PSD フォーマットなどのオリジナルファイルをアップロードする。
- 4) 表については、標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシック, Times New Roman, Century など) を用いた MS-Excel での作成を推奨する。
- 5) 表は原則として横罫線のみで表示し、縦罫線は表示しない。縦罫線のかわりに十分な空白を置く。
- 6) 数字は正、負の数に関わらず、同列内の小数点の位置、小数点以下の桁数 (有効数字に応じて) 揃える。
- 7) 表中の数字が理論的に必ず 1 以下になる場合 (相関係数など) は、0 を付けずに「.52」のように小数点以下のみで記載する。

図の例

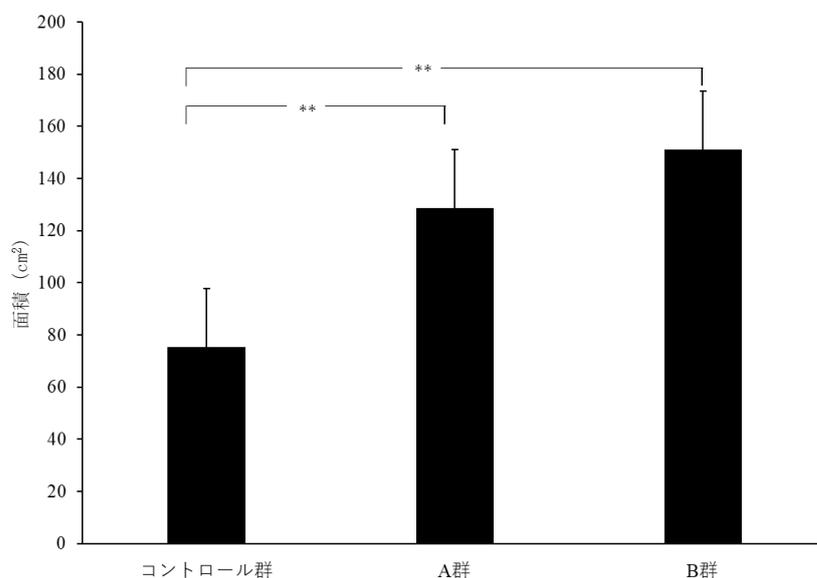


図1 AとBの介入における面積の比較
** $P < 0.01$.

表の例

表1. 基本属性

	A群 (n = 48)		B群 (n = 43)	
	n	%	n	%
職業				
リンパ浮腫専門家	24	50	21	49
その他	24	50	22	50
性別				
女性	24	50	22	50
男性	24	50	21	49